

平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年2月8日

上場取引所 大

上場会社名 ムトー精工株式会社

コード番号 7927 URL <http://www.muto.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 田中 肇

問合せ先責任者 (役職名) 管理部長

(氏名) 金子 貞夫

TEL 058(371)1100

四半期報告書提出予定日 平成25年2月8日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	18,234	28.0	575	332.1	701	592.4	423	—
24年3月期第3四半期	14,250	△6.9	133	△77.5	101	△80.0	△256	△155.7

(注) 包括利益 25年3月期第3四半期 960百万円 (—%) 24年3月期第3四半期 △603百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	58.50	—
24年3月期第3四半期	△34.96	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第3四半期	21,101	11,905	53.1
24年3月期	19,641	11,087	53.3

(参考) 自己資本 25年3月期第3四半期 11,195百万円 24年3月期 10,473百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	8.00	—	8.00	16.00
25年3月期	—	9.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	10.50	19.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	22,600	13.1	900	143.0	980	142.4	700	—	96.15

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期3Q	7,739,548 株	24年3月期	7,739,548 株
② 期末自己株式数	25年3月期3Q	494,460 株	24年3月期	459,142 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期3Q	7,245,207 株	24年3月期3Q	7,345,418 株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報(その他)に関する事項 .....	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	4
3. 四半期連結財務諸表 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
四半期連結損益計算書 .....	7
四半期連結包括利益計算書 .....	8
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	9
(4) セグメント情報等 .....	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の復興需要により公共工事等の内需関連が引き続き堅調に推移しているものの、欧州債務問題に端を発した海外経済の減速や領土問題による日中関係悪化に伴う輸出や生産の縮小が景気を押し下げている状況が続きました。一方で、落ち込んでいた自動車生産に回復の兆しが見られ、昨年末には米国が財政の壁を回避し、日本経済においては新政権の金融緩和や公共投資拡大など経済政策への期待から円安、株価回復に転じ、景気回復に期待が高まる状況となっております。

当社を取り巻く業界では、エコカー補助金を背景に自動車関連が堅調に推移したものの、デジタル家電、AV関連では、市場環境及び消費マインドの低迷により、大手家電メーカーの業績不振が続き、全般に厳しい状況で推移いたしました。

このような経済環境のなか、当社グループにおきましては、第3四半期末において円安に転じた為替相場が損益改善に寄与したことに加え、受注活動のさらなる推進、固定費の削減並びに業務効率の一層の改善を図るなど経営体質の強化を図ってまいりました結果、当第3四半期連結累計期間における業績は、売上高は182億3千4百万円と前年同四半期と比べ39億8千3百万円(28.0%)の増収、営業利益は5億7千5百万円と前年同四半期と比べ4億4千2百万円(332.1%)の増益、経常利益は7億1百万円と前年同四半期と比べ6億円(592.4%)の増益、四半期純利益は4億2千3百万円(前年同四半期は純損失2億5千6百万円)となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

#### ①プラスチック成形事業

当セグメントにおきましては、主力製品でありますデジタルカメラが低調に推移したものの、カーエアコン等の自動車関連部品に加え、電子ペンの受注が大幅に増加し、売上高はセグメント間の内部売上高を含めて153億9千1百万円と前年同四半期と比べ34億9千万円(29.3%)の増収となり、セグメント利益(営業利益)は4億2千7百万円と前年同四半期と比べ3億7千万円(650.4%)の増益となりました。

#### ②精密プレス部品事業

当セグメントにおきましては、ロンドンオリンピック等を背景に高級一眼レフカメラなど付加価値の高い部品の受注が増加し、加えて、内製化の効果により、売上高はセグメント間の内部売上高を含めて28億5千1百万円と前年同四半期と比べ1億4千9百万円(5.5%)の増収となり、セグメント利益(営業利益)は1億2千1百万円と前年同四半期と比べ4千8百万円(65.6%)の増益となりました。

#### ③プリント基板事業

当セグメントにおきましては、新規顧客の獲得に加え、プリント配線板設計において得意先の受注を安定的に確保し、また、医療関係の基盤検査の受注が好調に推移したことにより、売上高はセグメント間の内部売上高を含めて2億2千万円と前年同四半期と比べ3千4百万円(18.6%)の増収となり、セグメント利益(営業利益)は2千6百万円と前年同四半期と比べ2千3百万円(790.4%)の増益となりました。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

#### (資産、負債及び純資産の状況)

当第3四半期連結会計期間の財政状態は、流動資産につきましては、前連結会計年度末に比べ4億5千6百万円増加し、119億7千4百万円となりました。現金及び預金が1億7千2百万円、受取手形及び売掛金が1億8千6百万円、商品及び製品が1億6千8百万円、仕掛品が2億5百万円それぞれ増加し、原材料及び貯蔵品が7千6百万円、未収入金が1億4千4百万円それぞれ減少したことなどが主な要因です。

固定資産につきましては、前連結会計年度末に比べ10億2百万円増加し、91億2千7百万円となりました。有形固定資産が8億7千2百万円、投資有価証券が6千万円それぞれ増加したことなどが主な要因です。この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べ14億5千9百万円増加し、211億1百万円となりました。

また、流動負債につきましては、前連結会計年度末に比べ3億2千7百万円増加し、72億1千5百万円となりました。短期借入金が8億4千6百万円増加し、支払手形及び買掛金が3億4千万円減少したことなどが主な要因です。

固定負債につきましては、前連結会計年度末に比べ3億1千4百万円増加し、19億8千万円となりました。長期借入金が3億4千6百万円増加したことなどが主な要因です。この結果、負債の部は、前連結会計年度末に比べ6億4千1百万円増加し、91億9千6百万円となりました。

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ8億1千7百万円増加し、119億5百万円となりました。利益剰余金が3億円、為替換算調整勘定が4億4千1百万円それぞれ増加したことなどによります。

### (3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年3月期の連結業績予想(通期)及び配当予想(期末)につきましては、平成24年5月11日に公表いたしました「決算短信〔日本基準〕(連結)」の内容より変更はありませんが、実際の業績は今後の様々な要因によって大きく差異が発生する可能性があります。今後、業績予想に関して修正の必要が生じた場合には速やかに開示する予定であります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

海外連結子会社の税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

なお、この変更による当第3四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,531,744	2,704,586
受取手形及び売掛金	5,464,936	5,651,814
商品及び製品	611,408	779,998
仕掛品	868,691	1,074,497
原材料及び貯蔵品	1,454,825	1,378,249
未収入金	261,539	117,381
繰延税金資産	36,928	28,090
その他	287,981	240,167
貸倒引当金	△615	△678
流動資産合計	11,517,441	11,974,106
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,294,463	2,320,305
機械装置及び運搬具（純額）	3,059,732	3,300,629
土地	1,298,379	1,298,379
建設仮勘定	221,565	792,827
その他（純額）	729,759	763,901
有形固定資産合計	7,603,900	8,476,043
無形固定資産	222,990	244,921
投資その他の資産		
投資有価証券	241,052	301,941
繰延税金資産	700	1,230
その他	75,243	122,474
貸倒引当金	△19,460	△19,460
投資その他の資産合計	297,536	406,186
固定資産合計	8,124,427	9,127,151
資産合計	19,641,869	21,101,257

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,636,556	3,295,568
短期借入金	1,191,174	2,037,312
1年内返済予定の長期借入金	885,995	835,186
未払法人税等	83,452	94,714
賞与引当金	130,969	150,809
その他	960,256	801,911
流動負債合計	6,888,405	7,215,503
固定負債		
長期借入金	1,263,686	1,610,369
繰延税金負債	515	397
退職給付引当金	219,096	196,570
役員退職慰労引当金	173,076	167,877
その他	9,517	5,535
固定負債合計	1,665,892	1,980,749
負債合計	8,554,298	9,196,252
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,188,960	2,188,960
資本剰余金	2,235,713	2,235,713
利益剰余金	8,738,190	9,038,584
自己株式	△330,034	△349,507
株主資本合計	12,832,828	13,113,750
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,481	3,790
為替換算調整勘定	△2,363,725	△1,921,881
その他の包括利益累計額合計	△2,359,244	△1,918,091
少数株主持分	613,986	709,346
純資産合計	11,087,570	11,905,004
負債純資産合計	19,641,869	21,101,257



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 四半期連結損益計算書  
 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
売上高	14,250,696	18,234,052
売上原価	12,114,959	15,314,943
売上総利益	2,135,736	2,919,108
販売費及び一般管理費	2,002,610	2,343,808
営業利益	133,125	575,300
営業外収益		
受取利息	18,747	7,836
受取配当金	5,491	5,518
為替差益	—	68,058
負ののれん償却額	42,273	—
その他	68,423	64,948
営業外収益合計	134,935	146,360
営業外費用		
支払利息	20,434	19,804
為替差損	146,301	—
その他	—	303
営業外費用合計	166,735	20,108
経常利益	101,325	701,552
特別利益		
固定資産売却益	283	2,138
特別利益合計	283	2,138
特別損失		
固定資産売却損	3,477	—
固定資産除却損	193	9,886
投資有価証券評価損	373	—
ゴルフ会員権評価損	1,062	—
特別損失合計	5,107	9,886
税金等調整前四半期純利益	96,501	693,804
法人税等	318,518	217,459
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△222,017	476,345
少数株主利益	34,769	52,501
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△256,787	423,843

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△222,017	476,345
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△25,684	△691
為替換算調整勘定	△355,797	484,701
その他の包括利益合計	△381,481	484,010
四半期包括利益	△603,498	960,355
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△619,722	864,996
少数株主に係る四半期包括利益	16,223	95,359

(3) 継続企業の前提に関する注記

当第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)  
該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第3四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	プラスチック 成形事業	精密プレス 部品事業	プリント基板 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	11,447,888	2,625,901	176,906	14,250,696	—	14,250,696
セグメント間の内部 売上高又は振替高	452,405	75,521	9,142	537,069	△537,069	—
計	11,900,293	2,701,422	186,048	14,787,765	△537,069	14,250,696
セグメント利益	57,002	73,157	2,964	133,125	—	133,125

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	プラスチック 成形事業	精密プレス 部品事業	プリント基板 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	15,326,355	2,695,877	211,818	18,234,052	—	18,234,052
セグメント間の内部 売上高又は振替高	64,703	155,254	8,819	228,777	△228,777	—
計	15,391,058	2,851,132	220,638	18,462,829	△228,777	18,234,052
セグメント利益	427,721	121,179	26,398	575,300	—	575,300

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)  
該当事項はありません。